

一心太助の天秤棒 ～前の籠には責任を、後の籠には信頼を 肩に担いで売り歩く～

越谷市議員 白川 ひでつぐ

シリーズ/NO 141号



Web サイト



Youtube



Twitter



Spotify

駅頭は小さなドラマの連続だ！

初当選以来6期21年間毎日毎朝続ける東武鉄道の市内6駅での朝の駅立ちは、通算4200日を超えました。私の日々のツイッターのつぶやきから、転載したものを含め、駅前の様々な市民との出会いや何気ない駅前の風景、市民の日常を通した暮らしへの息遣いをエピソード集としてシリーズでお届けしています。

YouTubeの白川ひでつぐ公式チャンネルの登録者は262名を超えました。引き続き配信を継続していますので、これまでのご協力に感謝し、更にご登録をお願いします。

チャンネル登録



第5回市政報告会を開催、6月市議会の争点を論議、市立病院の初診料引き上げは妥当か？

今日は午前9時30分から、越谷市議会議会運営委員会が開催されるため、朝の駅立ちは中止した。議運での議題はこの間協議、持ち帰りが繰り返されている、議運のネット中継や東日本大震災の毎年3月11日の市議会での黙とうを公式行事とすること等だった。

議運のライブ中継について、自民党や公明党の議員は、他の常任委員会（すでにライブ中継を実施している）とは違い、協議する議案が市長提出議案ではなく、議会ルールを巡るものであり、休憩をはさむことも多く、結論に至るまで時間を要することも多く、市民に誤解を与えるため、中継には反対するとの意見だった。

誤解を与えないために中継ライブが必要がないとの意見、このままでは結論が出ない（議運は原則として全会一致を目指すことになっている）ため、私からそれでは発言等の動画修正も出来る「録画配信」を改めて提案した。

また、議事録の全面公開については全会一致で決定した。

更に、黙とうについては、自民党の議員からあくまで慰霊は議員個人がすればいいことで、あえて議会全体で取り組む必要はないとの意見が会派に持ち帰っても変更がなかった。

そこで私からすでに10数年間にわたり毎年この日は委員会等で黙とうを議員及び職員一同で行っている。その間2分程度だがライブ中継を休憩に落として対応している。

わずか2分間であり委員会の進行に影響はないし、すでに実績もあり何より議会全体の意思で被災者への慰霊と復興への願いを込めているので、個人として慰霊するのは全く自由でありこの日に限るものでもない。重要なことは議会という35万人市民の代表としての議会の公式行事は、全ての市民の意思を代表するものとして位置付けるもののだ、と発言。

ほかの議員の意見は、常任委員会委員長の裁量で対応すればいいというものだった。そのため今回も各会派持ち帰りとなった。

この日午後1時30分から、越谷商店街の貸会議室で、第5回市政報告会を開催した。主催は越谷市議会議員有志の会（6人）。

6月20日の最終日を迎えて閉会した6月越谷定例市議会の焦点や争点の中で6項目を取り上げて各議員が冒頭説明、報告した。

説明を受けて会場に参加した市民から質問があり、市立病院へ直接診察を受ける場合は、これまで初診料が4950円だったものが今回7700円に引き上げることに對して。

この議案に反対した共産党の議員から、引き上げによって市民は自由に診察を受けられなくなる、しかも市立病院の医師や看護師の不足や重労働は政府がこの間、医療制度を改悪してきた結果、医療現場がひっ迫しているのであり、これが最大の問題だ、との発言があった。

これに對して賛成した私から、確かにこれまで政府は医学部の定数を削減したり、保険点数を公立病院により優遇することに後ろ向きだったことから医療体制が不備であることは事実。しかしすぐにはその問題は解決しないため、行政は市民の健康と命に責任をもつ（裏へ）

立場から止む無く引き上げをせざるを得ない事態に地方議員として向き合うべきだ、と発言したが、どちらを支持するかはこの様な論議を聞いた上で市民が判断することなので、市政報告会の開催が必要なのだ。(7月30日・火曜日)

炎暑が続く中、暑さ対策グッズの効果はどれくらいか？



今朝の駅立ちは、千間台駅東口で午前5時30分前から市政レポートの配布を開始したが、早朝からグングンと気温が上昇してくのを体感してしまう。連日40度近い暑さ、炎暑に見

舞われている中3時間を超える駅立ちとなっているのでこれまで、麦わら帽子やクールネックリング(最初の1時間ほどしか涼しくないので午前6時30分頃にはただ装着しているだけだが)を使用しているが、今夏は更に「空調冷風服」を購入して今朝が使用のスタート。

風量を調整出来る様になっていて、背中やお腹に風が吹き込むので確かに涼しい。

ただ時間がたち気温が上昇して体に熱がこもるようになるとそれほど涼しくはない。

しかも付属しているバッテリーが意外に重たく2日間ほどしか蓄電が出来ないので、充電が頻繁に必要な。それでもやはりないよりは遥かに効果がある。

午前7時前に共産党の山田大介議員が、街宣活動をこの駅で始めたいと申し出があり、何時ものように了解して、15分交代でマイクを使用した。ただ街宣時間は、暑いため午前7時から午前7時45分までとの事だった。

私は、まだまだ暑さに対抗して駅立ちに通常通りに取り組んで行くことが続いて行く。終了後はやはり相当に疲労しているのを実感した日だった。(7月31日・水曜日)

ここは、チラシを配ってはダメだとして顔で去って行く高齢女性

今朝の駅立ちは、大袋駅西口なので午前5時45分には市政レポートの配布を開始した。

今日も午前4時過ぎには起床して、自宅を出

て、街宣用具の搬出、設置とルーチンワークとなっているが、この間猛暑と熱帯夜が続いているためどうしても眠りが浅くなっており万全の体調で活動出来ない日が続いている。

午前8時頃、高齢女性がエスカレーターを上り始め私を何度も指をさしてここ(私がたって市政レポートを配布している場所)では配ったらダメ、ととがめる様な目線で言ってくられたので、大丈夫ですよ、ここは公共の場ですから、と応答した。しかし怪訝そうな、納得していない顔つきでそのまま登っていかれた。

丁度10年前この駅の東口だったが、同じ様にエスカレーター傍で市政レポートを配布していた午前8時頃階段から降りてきた東武鉄道の50台の男性副駅長から、ここでの活動はやめてください、と言われた。何故ですかと返答したら、この駅の管理は東武鉄道が一任されているので、と少し強い口調で言われた。

えー、違うのではないですか、この駅は請願駅であり、このスペースは公共であり市民なら誰でも使用出来るはずですよ、と応答。

すると声を荒らげ、いいから兎に角この場から出て行ってくれ、と。いいや、そんな権限はあなたにはないでしょう、と反論したが、更に大きな声で出ていけとどなるので、あなたの言っている事が違っていたら、どうするのか、と応答。するとこの副駅長はそうだったら土下座して謝る、と言いつつ放ったので、納得はしなかったがしぶしぶ場所を移動した。

駅頭が終了してすぐに、駅舎建設の担当であった都市整備部長にこの日の経緯を話したが、東武鉄道に管理を一任などしていない、そのスペースは市の管理となっている、との返事だった。やはり、そうですか、それではそのことを東武鉄道に伝えて下さい、とお願いした。

しかし、その後この副駅長から土下座どころかお詫びの言葉や姿勢は一切なかった。

そもそも、この駅は越谷市が平成23年7月から平成25年10月にかけて、橋上駅舎化・西口新設工事に着手し、同時にエレベーター・エスカレーター・多機能トイレ新設など、駅構内バリアフリー化を図った。

建設費は20億円で、市が19億1500万円、東武鉄道が8500万円負担。この工事に伴い、越谷市内全駅でバリアフリー化が完了したもので、東武鉄道が公共交通機関として地域住民の利便性に貢献していることから巨額の市費を投入して建設や施設整備をして来た。一私企業の私的な営利活動ではない。(8月5日・月曜日)